

新型コロナウイルス感染対策について

出展ガイドライン

- 展示ブースの計画をする際には、感染防止の観点から、出展者や来場者が密になりにくいレイアウトとしてください。
- 出展者ブースの施工規定は、高さ4mを超える構造など、現場において作業に負担のかかるデザインは極力避けるよう設定し、施工時間短縮と施工人員削減による安全な作業環境を確保してください。
- 人との接触をなるべく避け、待機列、商談、ステージ等での対人距離を最低1m(できるだけ2mを目安に)確保してください。
- 接触感染防止のため、出展製品等の頻繁な消毒または来場者が展示物に触れにくいような工夫をしてください。
- 自社及び外注先スタッフの名簿作成と施工日・担当エリア・実際の勤務時間等できちぎり詳細に管理してください。
- 仮設の共有ストックなど、支援企業が共同または単独で使用する場合の消毒の実施をお願いします。
- 自社及び外注先スタッフの業務において、どの仕事にどのレベルの防護具が必要かを確認(マスクは全員着用)してください。
- 当日、物販を行う場合は、キャッシュレス決済の導入や、ブース内での人との接触、大声での会話を軽減するため、非接触型の商品説明やプレゼンテーションの動画配信などオンラインコミュニケーション活用を推奨します。
- 自社ブースの来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作り出さないよう配慮してください。
- 出展者様および運営スタッフは、公衆衛生の観点から、接種のリスク、ご自分と周囲への恩恵等を総合的にご検討いただき、特段の理由がない場合はできるだけ事前にワクチンの接種(2回)を済ませていただければ幸いです。

出展に関してのご注意

開催の中止

東京都および近隣の感染状況や、他イベントの自粛状況に鑑み、主催者が開催前に中止を決定した場合、お申込金額全額、出展料については主催者が弁済すべき経費を差し引いた後、納付済みの出展料の割合に応じて出展者様に返還いたします。但し、2022年3月23日(水)以降は、政府や東京都および会場からの要請により開催を中止せざるを得ない場合でも、出展料の返金はいたしかねます。なお、開催中止により生じたすべての損害について東京モーターサイクルショー協会および事務局は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

キャンセル規定

第49回東京モーターサイクルショーを開催した場合の出展者様の都合によるキャンセルは、規定通りの日程でキャンセル料が発生します。
※出展者募集10月15日(金)～11月1日(月) 出展料振り込み期限:11月30日(火)として2021年12月1日(水)以降、出展をキャンセルされた場合、いかなる事情がありましても**申込金および既納出展料は返金いたしません。**

関係者、出展ブースに関して

関係者の管理に関して

感染者が発生した場合、感染拡大を防ぐため、出展にかかわるすべての方に行き渡るよう関係者連絡組織図の作成をお願いします。また、保健所等の公的機関から要請があった場合には、聞き取り調査や関係者(すべて)の連絡先提出にご協力ください。関係者リストは、要請があった場合直ちに提出できるよう事前に作成をお願いします。なお、関係者連絡組織図、関係者リストとは別に事務局が指定する新型コロナウイルス接触確認アプリや新型コロナウイルス追跡アプリへの登録を全出展者をお願いする予定です。

出展ブース 搬入・施工に関して

現場での作業は極力減らすような工夫をお願いします。施工時間短縮と施工人員削減による安全な作業環境にご協力ください。また、空気が籠もる構造は避け、空気の流れを考慮した換気ができるようにお願いします。

出展ブース 運営に関して

運営についても人員のコンパクト化にご協力ください。また、来場者が密にならないよう、ブース内への入場制限も予め考慮し運営計画を立ててください。飛沫感染防止のため、ブース内のデモ音量規制による大声での会話の抑制や、二次元コード等を利用した、非接触型の商品説明など、オンラインコミュニケーションを活用した運用、展示物の適宜消毒の実施、商談の際のパーティションの設置等できちぎりの感染対策にご協力ください。運営スタッフについては、不特定多数の方と接触がある場合、段階によって予防策の強化をお願いします。

来場者、出展者、関係者の管理に関して

来場者、出展者、関係者の入館

- 風邪の症状がある、37.5度以上の熱がある、息苦しさや強いだるさ等の症状がある場合は入館をお断りします。
- マスクの着用を義務付けます。(非着用の場合は入館できません)
- 各会場の入り口で手指の消毒を実施します。
- 飛沫感染防止パネルの設置。(総合インフォメーション)

待機列が予想される場合

- 十分な間隔を確保するとともに、目安なども分かりやすい表示を行います。

入場者数の把握と入場制限

- 日時指定の入場規制の実施により、入場者数を把握し、許容人数を超えた場合には入場制限を行います。
 - ※収容人数は東京ビッグサイトの規定に則ります。
- 事前登録制を実施して、来場者リストを作成します。

会場内の換気

- 空調の使用や、扉、窓の開放等により、会場内の換気を常に行います。

高頻度接触部について

- ドアノブ、手すり、エレベータのボタン、エスカレータのベルト、トイレ等の消毒を行います。
- 他者と共用する物品(休憩所のテーブル、椅子、ベンチ等)の消毒を行います。

感染に関する注意喚起と感染時対応

公式ウェブサイト

事前に入場方法について告知します。

- 風邪の症状がある、37.5度以上の熱がある、息苦しさや強いだるさ等の症状がある場合は、来場自粛を要請

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底

- 新型コロナウイルス接触確認アプリや新型コロナウイルス追跡アプリ等、指定アプリの登録義務

- 感染が疑われた時に直ちに所定の場所に連絡する(帰宅後)

- 感染が発覚した時点でアプリへの感染登録(帰宅後)

新型コロナウイルス対策アプリ

- 事務局が指定する新型コロナウイルス接触確認アプリや新型コロナウイルス追跡アプリへの登録を義務付けます。

※「東京版新型コロナウイルス見守りサービス」「厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ」の周知・推奨

会場内アナウンス

- 会場内では、館内放送や各所モニターを通じて、感染に関する注意喚起アナウンスを定期的実施します。

感染対策

- 新型コロナウイルス感染症の感染疑い例が発生した場合の対応については、会場・関係各所との協議の上、マニュアルを作成しすべての関係者と共有します。

- 東京都への「全国的又は大規模イベント開催事前情報シート」の提出。

	搬入時	会期中				搬出時
		バックヤードスタッフ 来場者との接触少	説明・案内 スタッフ	ステージ出演者 来場者との会話が無い	受付・配布スタッフ 来場者との接触有り	
運営スタッフの予防策						
マスク	○	○	○	○	○	
フェイスシールド				△		
マスク+フェイスシールド			△			
マスク+フェイスシールド+手袋					△	

※○は「義務付け」、△は「推奨」

※設備では、ビニールシートやアクリル板等の仕切りも検討する

常に感染のリスクがあることを前提に、出展関係者の感染防止はもとより、来場者の感染防止を踏まえた運営をお願いします。